

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市沖野デイサービスセンター
2	指定管理者	社会福祉法人仙台市社会事業協会
3	指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》</p> <p>平成29年度 5,290人（前年度比 100.7%）</p> <p>平成28年度 5,251人（前年度比 104.3%）</p> <p>平成27年度 5,033人（前年度比 103.9%）</p> <p>《事業》個別ケアの実施、機能回復訓練の実施、行事等の実施、お花見、お食事会、バラ観賞、お買物ツアー、七夕製作、七夕ドライブ、敬老会、運動会、お茶会、クリスマス忘年会、初詣、民謡教室、絵手紙教室、世代間交流、体験利用の実施、家庭菜園、節分、ひな祭り製作、等</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p>・ 指定管理者に支払った費用 ※利用料金制を採用しているため、指定管理料の支出はない。</p> <p>・ その他市が負担した費用 6,921千円 ()千円</p> <p>《収入》</p> <p>・ 介護保険収入 55,198千円 (46,427千円)</p> <p>・ その他収入 48千円 (28千円)</p> <p style="text-align: right;">()は前年度決算額</p>
6	利用者の声	<p>《実施状況》</p> <p>利用者アンケートを実施し、結果を公表及び検討の上実施した。その他、サービス担当者会議やご利用時に出していただいたご意見についても、その都度検討、実施・実現に努めた。</p>

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	<p>デイサービスセンターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。</p> <p>また、利用者の健康相談や公平・公正な利用、要介護者の心身の特性に配慮した対応に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。</p>	S
II 施設の運営管理体制	<p>必要数の職員が配置されており、各職員は他の職員の業務状況を把握している。経理処理も書類作成など適正に行われている。</p> <p>また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定めるとともに、職員への周知等により意識啓発を行い、個人情報保護に対する体制を整えている。</p> <p>事故や災害の発生に備えて、連絡体制や職員の役割分担を予め決めていくなど、対応体制を構築している。</p>	S
III 施設・設備の維持管理	<p>利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、建築物の保守点検や施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。</p> <p>また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。</p>	S
IV サービスの質の向上	<p>利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な対応と分かりやすい説明を心がけている。</p> <p>また、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、利用者アンケートを年1回は行うなど、利用者の意見を反映した施設運営に努めている。さらに、広報誌の発行などを通じ、利用者等への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。</p>	S
V 施設固有の基準	<p>介護技術向上のための定期的な研修実施や、職員間での情報交換など、サービスの質を向上させる取組を行っている。</p> <p>また、関係機関と定期的な会議を開催することにより、日常的な連携体制を構築し、関係機関からの情報収集と利用者への情報提供に努めている。</p>	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人 仙台市社会事業協会）による自己評価》	
<p>平成29年度は、介護保険法に基づいた運営基本方針である、①在宅の要支援・要介護の高齢者に対する生活支援・心身機能の維持回復を図り、利用者の生活機能維持・向上を目指すサービス提供②利用者が生きがいのある楽しい日々を送れるような事業の実施③介護者が家事・休養他の時間に余裕が持てるような支援、に取り組んだ。また、併設されている沖野老人福祉センター、沖野居宅介護支援センターとの協働をはじめとして関係諸機関との連携を図りながら、高齢者福祉に寄与する運営を行い、総合事業へと制度の転換が図られる中、要支援者の方々へ従前と変わらない介護サービスを提供してきた。また、施設が地域のボランティアを積極的に受け入れており、特に老人福祉センターを利用される方々がボランティアとして活躍、「高齢者が高齢者を支える」場として機能している。経営面では、集客数・収入ともに前年同様(2月現在)が見込まれており、1日当たりの利用者平均は16～18名、稼働率は64～72%となっている。なお、仙台市の利用者アンケートによる施設サービス満足度は例年同様、高い水準をキープしている。今後、要支援利用者の割合が多くなってくることが予想されるため、増々の集客数・稼働率両面の上昇が課題となっている。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成29年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。広報活動、営業活動を積極的に行ったことにより、3年度連続となる利用者数の増加を実現しており、高く評価できる。また、外部研修について全職員に参加を促したり、交換研修の受け入れにより外部との接触機会を設けるなど、職員の資質向上にも積極的に取り組んでいる。</p> <p>利用者に対しても帰宅時間のニーズへの対応や、必要と判断した場合は要支援利用者の規定回数以上の受け入れを行うなど、利用者本位のサービス提供に努めている。</p> <p>そのほか併設の老人福祉センターの様々な行事への参加や、近隣の保育園との世代間交流を行うなど、関係機関や地域と連携しての事業展開も実施しており、総合的に高く評価できる。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保険高齢部高齢企画課